

奈良県旅館業の業務の適正な運営の確保等に関する条例第11条に基づく定期報告 (平成30年10月～12月)

貴宿泊施設名	※旅館業法の営業施設ごと		年月日
	旅館業法の許可施設ごとに、ご記入ください 例) 旅館●● : 定員 12人、客室 3室 旅館●●別館 : 定員 5人、客室 2室 旅館業法の許可が別の場合は、分けてご記入ください。		担当者
営業者			電話番号
種別			※「旅館営業」「ホテル営業」は「旅館・ホテル営業」に統合されました。

記載内容について問合せする場合がありますので、ご担当者様とお電話番号をご記載ください。

1. 宿泊者の状況についてご記入ください（宿泊者数の場合は「」、休業の場合は「休業」とご記入ください）

	宿泊者数		うち 外国人 (日本国内に住所を有しない)		※参考 ・延べ人数: 宿泊した人の宿泊数の合計 ・実人数: 宿泊施設に宿泊した人の人数
	延べ人数 …(A)	実人数	延べ人数 …(B)	実人数	
10月					
11月					
12月					

外国人の延べ人数の国籍別内訳を、「2」にご記入ください。

2. 外国人宿泊者数の延べ人数、国籍別内訳についてご記入ください（「(B)」の内訳です）

	外国人の延べ人数…(B)	韓国	中国	ロシア	シンガポール	タイ	マレーシア	インド	オーストラリア
10月									
11月									
12月									

上段「1」の外国人宿泊者の延べ人数(B)について、国籍別内訳をご記入ください。

	ドイツ	フランス	ロシア	シンガポール	タイ	マレーシア	インド	オーストラリア
10月								
11月								
12月								

・営業した日とは、宿泊者のあった日に加え、宿泊者はいなくても、宿泊があれば対応できるように準備（例：従業員の待機・食材や最寄りの交通機関への送迎の準備等）していた日も含めてください。

・ひと月の間に稼働した客室数とは、宿泊に使用した客室数を1ヶ月ごとに合計した数値です。
 例) 1日 4室利用
 2日 3室利用
 3日 4室利用
 → 合計 11室利用としてください

3. 客室の稼働状況についてご記入ください

	月末時点の定員数(人) …(C)	月末時点の提供可能な客室数(室) …(D)	ひと月の間に営業した日数の合計(日) …(E)	ひと月の間に稼働した客室数の合計(室) …(F)	客室稼働率(%) <自動計算>	※参考 客室稼働率 (F)÷((D)×(E))
10月					-	
11月					-	
12月					-	

月ごとの最終営業日の定員及び提供可能な室数を記載してください。